

これからの主体的・対話的で深い学びを 実現する英語教育

— 未来に向けて

自律的に学ぶことのできる学習者を育てる —



これからの

「主体的・対話的で深い学び」を導く過程では、

生徒が輝くことはもちろん、

先生も、先生として輝く



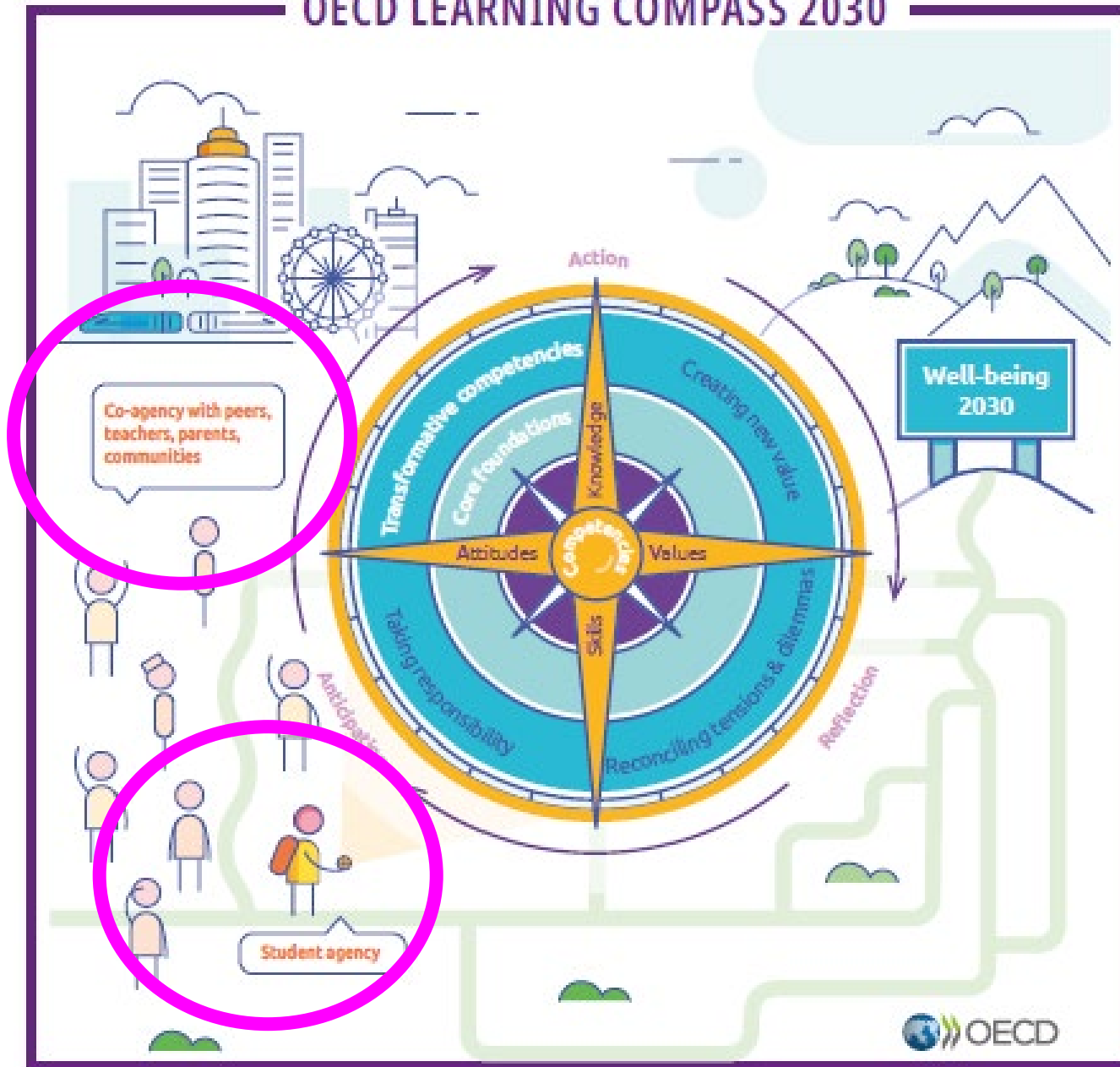


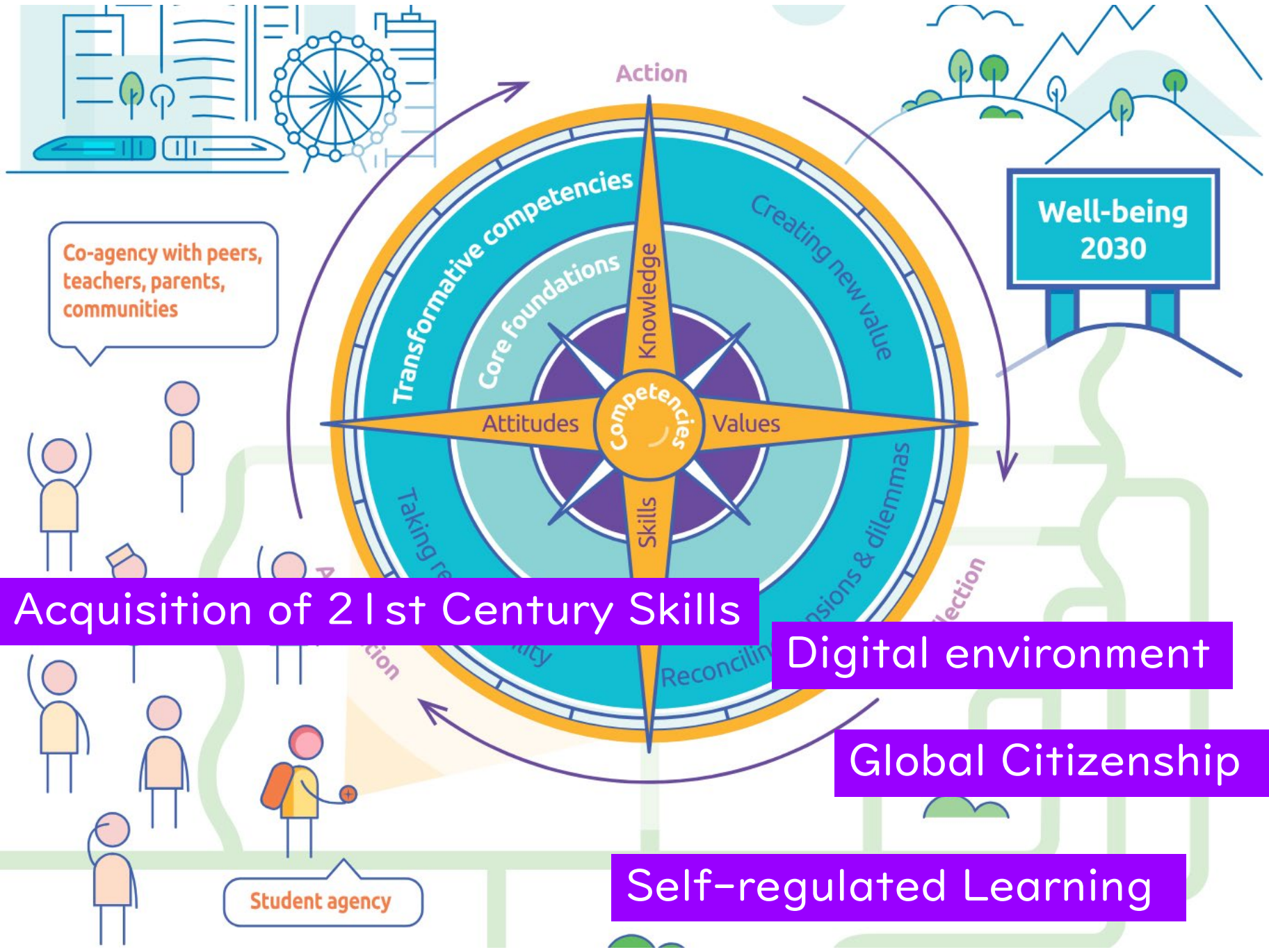
The “Future of Education and Skills 2030” project

How can we prepare students for jobs that have not yet been created, to tackle societal challenges that we can't yet imagine, and to use technologies that have not yet been invented? How can we equip them to thrive in an interconnected world where they need to understand and appreciate different perspectives and world views, interact respectfully with others, and take responsible action towards sustainability and collective well-being?

... the OECD Learning Compass has been co-created to represent the types of competencies deemed important for students to thrive in the future. Similarly, the OECD Teaching Compass is currently under development to outline the types of competencies teacher will need in order to empower their students to shape a better future.

OECD LEARNING COMPASS 2030





Co-agency with peers, teachers, parents, communities

Well-being 2030

Acquisition of 21st Century Skills

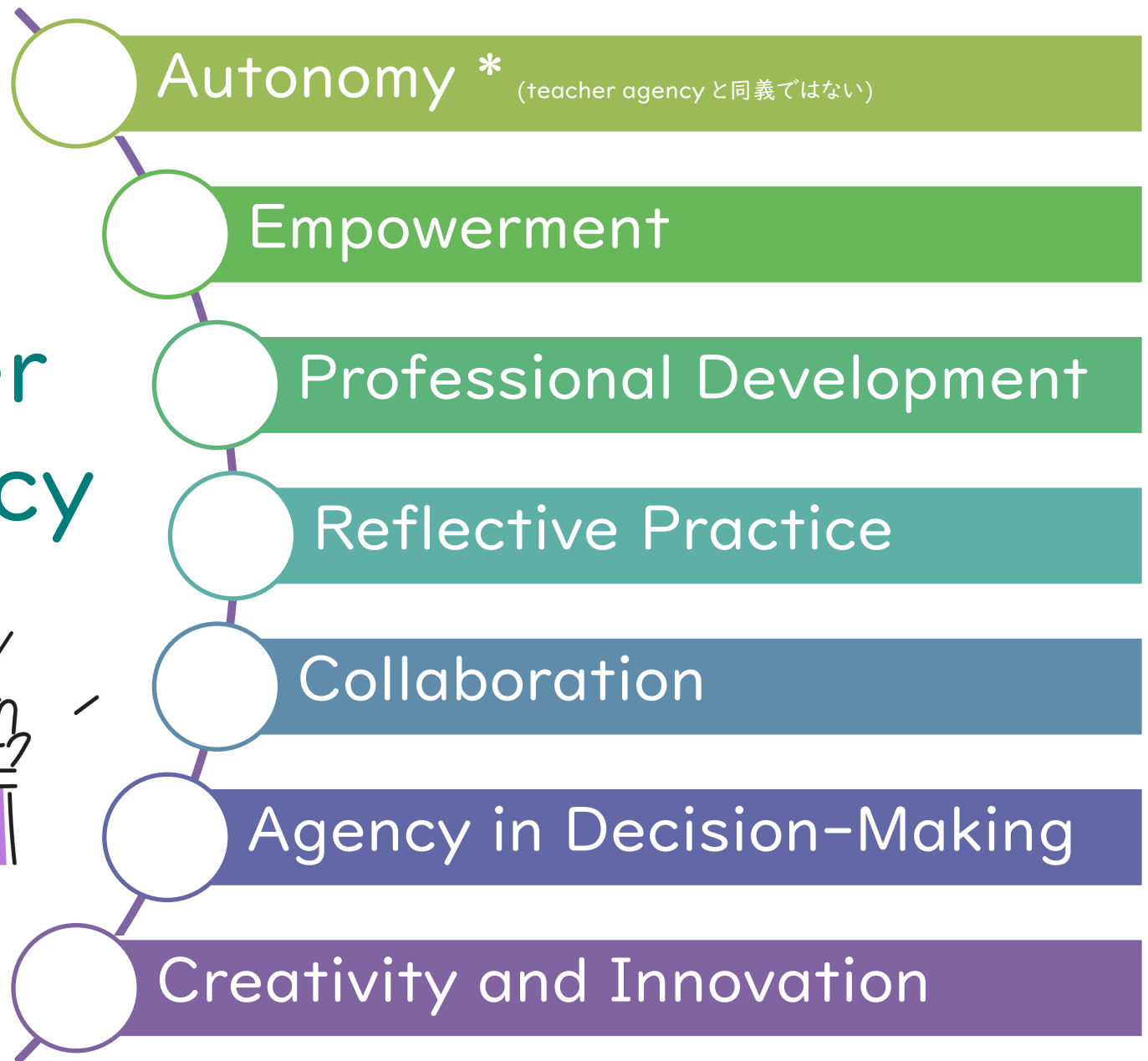
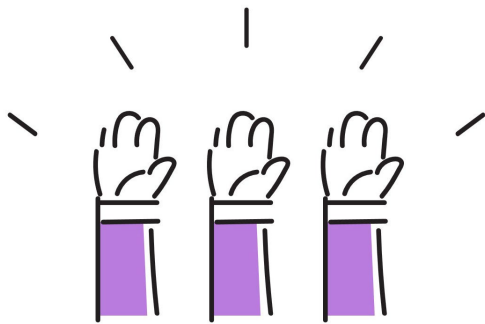
Digital environment

Global Citizenship

Self-regulated Learning

Student agency

Teacher Agency





質の高い学びの実現に向けた3つの視点

主体的な学び

- 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

- 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

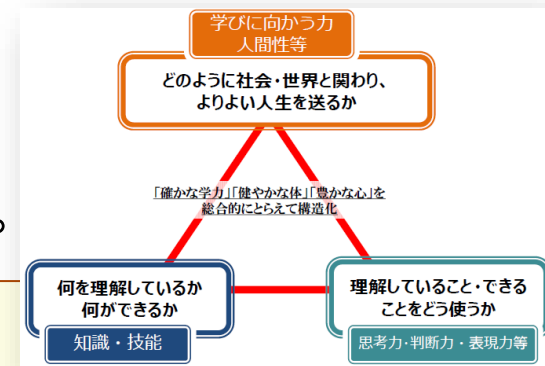
深い学び

- 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう



「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点からの授業改善

- ✓ 児童生徒や学校の実態に応じて、資質・能力を育成するために**多様な学習活動を組み合わせて**授業を組み立てていくことが重要であり、例えば高度な社会課題の解決だけを目指したり、そのための討論や対話といった学習活動を行ったりすることのみが主体的・対話的で深い学びではない。
- ✓ 「深い学び」には、各教科等の特質に応じて「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」を表す「**見方・考え方**」を働かせることが必要。



外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに注目して捉え、コミュニケーションを行う**目的・場面・状況等**に応じて、情報や自分の考えなどを形成、整理、再構築すること」

- ✓ 児童生徒に「見方・考え方」を自由に働かせるようにするためには、**教師の専門性が発揮**される。

教師の専門性として大切なスキル

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視し、教師が自らの指導のねらいに応じて授業での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくことが大切である。すなわち、平成 29 年改訂学習指導要領で重視している「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して各教科等における資質・能力を確実に育成する上で、学習評価は重要な役割を担っている。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 外国語 p. 5
https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_gaikokg.pdf

- ◆ Assessment of Learning 「学習の評価」 総括的評価
- ◆ Assessment for Learning 「学習のための評価」 形成的評価
- ◆ Assessment as Learning 「学習としての評価」
形成的評価のうち「学習者としての自分」
の理解を強調、メタ認知能力を高める



「問う」: Asking Questions



display / yes-no / factual /
closed-ended questions?



referential / WH / inferential /
open-ended questions?



personalize, checking the
background, discourse, opinion, ...



the order of questions



生徒は問われているか？

教師は問うているか？



生徒、そして教師は

問いを立てることができるか？



「何を」問うのか: The Good Thinker's Toolkit





課題について「何を」意識させるのか：GRASPS





具体例

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形（I'm や don't など）は1語と数え、符号（ , や ? など）は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】

1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
10	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 学校生活（行事や部活動など）の中から1つ取り上げている。 ② 紹介する内容を一貫性のある文章で書いている。 ③ 25語以上の英語で書いている。 ~~~~~ (正答例) ・ Our school has a school festival in October. In the festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize. Many people come to listen to our songs. [33 words]		
	1 条件①、②、③を満たし、正確な英語（語や文法事項等の誤りがない）で解答しているもの	0.3	◎
	2 条件①、②、③を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがない）で解答しているもの (正答例) ・ Our school has a school festival in October. In the festival, we have _ chorus contest and we practice hard. We want to win the gold <u>plize</u> . [26 words]	7.5	○
	3 条件①、②、③を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの	31.4	
	4 条件①、②を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがない）で解答しているが、条件③を満たさないもの（20語～24語の英語で書いているもの）	0.3	
	5 条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	14.9	
	6 条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	0.4	
	7 条件③を満たさないで解答しているもの（解答類型4を除く）	21.1	
	99 上記以外の解答	3.2	
	0 無解答	20.9	
		正答率	7.7

令和5年度 全国学力・
学習状況調査 報告書
<https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/> (p. 69)



GRASPS: Goal (目的／取り組む課題は何か)

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

課題の目的を理解し、取り組むべき内容を明確にする

- 「学校紹介文を作成する目的は何か？」
- 「この紹介文が掲載される英語版のホームページにおいて、どのような情報が必要だと思うか？」
- 「あなたの学校のどのような特徴を紹介したいか？」
- 「学校紹介文を作成することで、どんな効果が期待できるか？」



GRASPS: Role (学習者の役割は何か)

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

自分の役割を理解し、課題に対する責任を持つように促す

- 「あなたはどのような役割で学校紹介文を作成するのか？」
- 「あなたが学校を紹介するとしたら、どのような情報を優先的に伝えるか？」
- 「あなたは学校紹介文を通して、読者にどのような印象をもってもらいたいのか？」
- 「この紹介文を通して、読者にどのようなメッセージを伝えたいか？」



GRASPS: Audience (想定される参加者は誰か)

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

ターゲットとなる読者を意識し、情報の選択や表現方法を工夫する

- 「あなたの学校紹介文を読むのは、どういう人たちか？」
- 「英語版ウェブサイトを読む海外の生徒などは、特にどのような情報を特に知りたいと思うか？」
- 「読者が理解しやすいようにするには、どのような語句や表現を使うべきか？」
- 「どのような学校の特徴を強調することが、読者にとって有益だと考えるか？」



GRASPS: Situation (どういふ状況か)

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開示しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

課題に取り組む背景や状況を理解し、適切な行動を取る

- 「この学校紹介文を書く目的を考えると、どのような情報が重要だと思うか？」
- 「読者が短い時間で理解できるようにするなら、紹介文にはどのような情報を含めるべきか？」
- 「紹介文にはどのような具体的な例を入れると、学校の特徴がより伝わりやすくなるか？」
- 「紹介文はどれくらいの長さが適切だと思うか？」



GRASPS: Product / Performance and Purpose

(求められるパフォーマンスは何か)

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

求められる成果物やパフォーマンスに対する理解を深め、具体的な作業に取り組む

- 「学校紹介文で最も重要なのは、どの部分だと思うか？」
- 「あなたの学校のどんな行事や部活動を紹介したいか？それはなぜか？」
- 「紹介文の内容が効果的に伝わるようにするには、どのような構成にすべきか？」
- 「文章の中で具体的な情報（e.g., 部活動の成果、学校行事のエピソード）をどのように盛り込むことができるか？」



GRASPS: Standards and Criteria for Success

(達成度を評価する観点と基準は何か)

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

自分の成果物の評価基準を理解し、どのように達成すべきかを考える

- 「この紹介文が成功するためには、どのような要素が重要だと思うか？」
- 「どのような点が評価されると、良い文章だと言えるか？」
- 「あなたが読者の立場になったとき、どのような点に注目して文章を評価するか？」
- 「具体的にどのような表現が読者にとって分かりやすく、魅力的だと思うか？」



思考の先に

思考が教科横断型の汎用的能力によるものとしても、

そこから

英語という「ことば」(語句や表現)に必ずつなぐ



外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに注目して捉え、コミュニケーションを行う**目的・場面・状況等に応じて**、情報や自分の考えなどを形成、整理、再構築すること」



英検リニューアル概要

級	一次試験			二次試験	
	筆記試験			Listening	Speaking
	Reading	Writing	試験時間		
1級	41問→35問 ・大問1:短文の語句空所補充 →3問削除(単語問題) ・大問3:長文の内容一致選択 →3問削除(設問No. 32-34)	英作文問題の出題を 1題から2題に増加 既存の「意見論述」の出題に加え、 「要約」問題を出題	変更なし (100分)	変更なし	変更なし
準1級	41問→31問 ・大問1:短文の語句空所補充 →7問削除(単語問題) ・大問3:長文の内容一致選択 →3問削除(設問No. 32-34)		変更なし (90分)	変更なし	受験者自身の意見を問う質問 (No. 4) に話題導入文を追加
2級	38問→31問 ・大問1:短文の語句空所補充 →3問削除(文法問題など) ・大問3B:長文の内容一致選択 →4問削除(設問No. 30-33)		変更なし (85分)	変更なし	変更なし
準2級	37問→29問 ・大問1:短文の語句空所補充 →5問削除(熟語・文法問題など) ・大問3B:長文の語句空所補充 →3問削除(設問No. 28-30)	英作文問題の出題を 1題から2題に増加 既存の「意見論述」の出題に加え、 「Eメール」問題を出題	時間延長 (75→80分)	変更なし	変更なし
3級	変更なし		時間延長 (50→65分)	変更なし	変更なし

このたびのリニューアルに伴い削減する設問番号は()内で示しています。2023年度までの現行の設問番号を表します。

※なお、合格基準スコア、CEFR算出範囲の変更はございません。





2024年度第1回検定【準2級ライティング「Eメール」問題】

Grade Pre-2

5 ライティング (Eメール)

ライティングテストは、2つ問題(5と6)があります。忘れずに、2つの問題に解答してください。この問題は解答用紙B面の5の解答欄に解答を記入してください。

- あなたは、外国人の知り合い (Alex) から、Eメールで質問を受け取りました。この質問にわかりやすく答える返信メールを、 に英文で書きなさい。
- あなたが書く返信メールの中で、Alex のEメール文中の下線部について、あなたがより理解を深めるために、下線部の特徴を問う具体的な質問を2つしなさい。
- あなたが書く返信メールの中で に書く英文の語数の目安は40語～50語です。
- 解答は、解答用紙のB面にあるEメール解答欄に書きなさい。なお、解答欄の外に書かれたものは採点されません。
- 解答が Alex のEメールに対応していないと判断された場合は、0点と採点されることがあります。Alex のEメールの内容をよく読んでから答えてください。
- の下の Best wishes, の後にあなたの名前を書く必要はありません。

Hi!

I have something to tell you about. I went to a library with my friends yesterday. I wanted to study at home, but my friends suggested studying at a quiet place. So, we went to the library near the station. It was very beautiful, and there was a surprise. There was a café in the library. Do you think such cafés will become popular in the future?

Your friend,
Alex

Hi, Alex!

Thank you for your e-mail.

解答は、解答用紙のB面にあるEメール解答欄に書きなさい。
なお、解答欄の外に書かれたものは採点されません。

Best wishes,



【3級】「Eメール」問題 《2024年度第1回検定》

Hi,

Thank you for your e-mail.

I heard that you went to the art museum in your town. I have some questions for you. How many pictures did you see at the art museum? And how long did you stay there?

Your friend,
James

Hi, James!

Thank you for your e-mail.

かいとう かいとうようし めん かいとうらん か
解答は、解答用紙のB面にあるEメール解答欄に書きなさい。
かいとうらん そと か さいてん
なお、解答欄の外に書かれたものは採点されません。

Best wishes,

【解答例】

I saw about thirty pictures there. I stayed there for two hours.

I really enjoyed the art museum (20語)

解答は3つの観点（内容、語彙、文法）で採点されます。

観点ごとに0～3点の4段階で評価され、得点の満点は9点となります。



【3級】「Eメール」問題 《2024年度第2回検定》

Hi,

Thank you for your e-mail.

I heard that you won the first prize at the speech contest. I want to know more about the contest. When was the contest? And how many people listened to your speech?

Your friend,
James

Hi, James!

Thank you for your e-mail.

かいどう かいどうようし めん かいどうらん か
解答は、解答用紙のB面にあるEメール解答欄に書きなさい。

かいどうらん そと か さいてん
なお、解答欄の外に書かれたものは採点されません。

Best wishes,

【解答例】

The contest was last Friday. Thirty people listened to my speech. I was really nervous, but I enjoyed the event. (20語)

解答は3つの観点（内容、語彙、文法）で採点されます。

観点ごとに0～3点の4段階で評価され、得点の満点は9点となります。



2024年度第1回検定【2級ライティング「要約」問題】

Grade 2

4 ライティング（英文要約）

ライティングテストは、2つ問題（4と5）があります。忘れずに、2つの問題に解答してください。
この問題は解答用紙B面の4の解答欄に解答を記入してください。

- 以下の英文を読んで、その内容を英語で要約し、解答欄に記入しなさい。
- 語数の目安は45語～55語です。
- 解答は、解答用紙のB面にある英文要約解答欄に書きなさい。なお、解答欄の外に書かれたものは採点されません。
- 解答が英文の要約になっていないと判断された場合は、0点と採点されることがあります。英文をよく読んでから答えてください。

When students go to university, they usually go to the campus and take classes in classrooms with other students. However, there are other types of classes for students to take. Some of them take online classes from home without going to the campus.

What are some benefits of this? Online classes are helpful for students living far away from the campus because they do not need to travel for long periods of time. Moreover, in the case of recorded online classes, students can watch recorded classes over and over again so that they can understand the classes better.

However, some students may have problems with their computers or their Internet connection during online classes. This can make it difficult to take the classes smoothly. Also, if students do not go to the campus, they will have fewer chances to see each other face-to-face and talk to other students. Because of this, some students may feel lonely.



【2級】「要約」問題 《2024年第1回検定》

When students go to university, they usually go to the campus and take classes in classrooms with other students. However, there are other types of classes for students to take. Some of them take online classes from home without going to the campus.

What are **some benefits** of this? Online classes are helpful for students living far away from the campus because they do not need to travel for long periods of time. Moreover, in the case of recorded online classes, students can watch recorded classes over and over again so that they can understand the classes better.

However, some students may have problems with their computers or their Internet connection during online classes. This can make it difficult to take the classes smoothly. Also, if students do not go to the campus, they will have fewer chances to see each other face-to-face and talk to other students. Because of this, some students may **feel lonely.**

【解答例】

Some students take online classes instead of going to the campus. Online classes have **benefits**, such as saving travel time and improving students' understanding through watching recorded classes repeatedly. However, some students may have computer problems and **feel lonely** because they do not meet other students directly on campus.

(49語)



【2級】「要約」問題 《2024年第2回検定》

University students often plan for their future careers by attending job fairs or searching online for information about different kinds of work opportunities. There are other ways, too. Some of them choose to join short-term work programs at companies called internships.

These have some good points. Students will be able to know more about companies they are interested in, such as what kind of jobs there are and what kind of people are working there. Also, internships allow students to get to know other students. These students can encourage each other both during and after the internship.

On the other hand, if students choose to join very short internships, they may not be able to understand the job they are doing before the internships end. Also, students who take part in internships may find it difficult to do well in their studies.

【解答例】

Some university students decide to participate in internships. By doing so, students can have specific information about companies they are interested in and build helpful relationships with other students. However, students may find it difficult to understand the job and perform well in their studies.



【準2級プラス】「要約」問題 《サンプル問題》

- 以下の英文を読んで、その内容を英語で要約し、解答欄に記入しなさい。
- 語数の目安は25語～35語です。
- 解答欄の外に書かれたものは採点されません。
- 解答が英文の要約になっていないと判断された場合は、0点と採点されることがあります。英文をよく読んでから答えてください。

More and more people are buying clothes on the Internet. Nowadays, people even buy socks, hats, and other items from online stores.

The good thing about buying these items online is that people can save money. When they shop online, they can compare the prices without going to the store.

However, there is a problem. Online shopping users can sometimes be disappointed. The reason for this is that the actual products may be different from the photos on the online stores.



More and more people are buying clothes on the Internet. The good thing is that people can save money. However, there is a problem. The actual products may be different from the photos on the online stores.

(発表者が意図的に作成した要約例であり、これが必ずしも正答とは限りません。)



「要約」する力を育てる

準1級
以上?

- ◆ 要点と支持詳細を相手に分かりやすく伝えるように再構築し、自分の言葉で言い換えてまとめる

2級?

- ◆ 要点と支持詳細を論理関係を維持しながらまとめる
- ◆ 要点を適切に把握し、まとまりのある内容となるように詳細情報で補完する

summarize

要点やそれを支持する詳細などを抽出し、分かりやすく言い換えてまとめる

recount

より形式的に、順序立てて話す／より正確な語句や表現、接続語句の使用

retell


物語や出来事を、再び語る／視覚情報やキーワードの手掛かり

準2級
プラス?

「英文を要約する」力を、学習者の認知発達に沿いながら、どう育成するか



英検各級の測定能力レベル

CEFR		英検 CSE スコア	実用英語技能検定（英検） 各級の合格基準スコア 							
Proficient User 熟練した 言語使用者	C2	4000 3300								
	C1	3299 2600								3400 (3299)
Independent User 自立した 言語使用者	B2	2599 2300								2600 B1 扱い (2599)
	B1	2299 1950	2200	A2 扱い (1949)	2500 A2 扱い (1949)	2600 B1 扱い (2299)	2304	2600 B1 扱い (2599)	2630	3400 (3299) 1級 (2304)
Basic User 基礎段階の 言語使用者	A2	1949 1700	A1 扱い (1699)	(1949)	1829	(1949)	1980	2600 B1 扱い (2299)	2304	2600 B1 扱い (2599)
	A1	1699 1400	(1699) 3級 (1400)	1728	準2級 (1400)	準2級 プラス (1550)	2級 (1728)	2600 B1 扱い (2299)	1980	2600 B1 扱い (2599)
		1399 0	CEFR 算出外 0	1456	CEFR 算出外 0	CEFR 算出外 0	CEFR 算出外 0	CEFR 算出外 0	CEFR 算出外 0	CEFR 算出外 0

中学卒業程度

高校卒業程度

大学上級程度

高校中級程度

大学中級程度

広い視野で英語力育成をとらえる

- 能力伸長のステップを大切に
- 授業を実際のコミュニケーションの場面に
- 「できた!」という経験は学習者一人一人のもの

生徒の学びに積極的に関わる

- Teacher Agency を高める

